

ウッディエイジ（木材の研究と普及）1989年総目次

★対談など

- 年頭のごあいさつ 1. 1
- 広葉樹外材の輸入動向と道内林産業へ及ぼす影響
—ナラとオークの時代に向けて— 1. 2
- 新たな展開を図って 1. 2
株式会社米子組 米子宏一さんに聞く
- 森林資源と木材の利用（上） 1. 3
北海道大学農学部教授 宮島 寛氏
- 森林資源と木材の利用（下） 1. 4
北海道大学農学部教授 宮島 寛氏
- カラマツセメントボードの企業化 1. 5
北海道ラーチ株式会社 大石文雄さんに聞く
- より性能の高い製品開発を目指して 1. 6
昭和木材株式会社 高橋二郎さんに聞く
- 技術開発に挑む 1. 7
恵盛木材株式会社 佐野光男さんに聞く
- 北海道の広葉樹に関する資料 1. 8
—優良材の産地と材質—
- 林業・林産業の協業化を進めて 1. 9
株式会社西根製作所 西根貞義さんに聞く
- 生産性向上と資源の有効利用を求めて 1. 10
山本木材株式会社 山本康夫さんに聞く
- 丹波年輪の里を訪ねて 1. 11
- 最近のカラマツ材の生産と利用の周辺 1. 12
北海道カラマツ対策協議会副会長 加納 博氏

★その他

- 協会記事 1. 11

★特集

- 木造住宅の良さ 1. 2
住宅の性能
木の良さ
木製窓・ドアの使い方

内装材の使い方

- カラマツセメントボードの外装施工について
- 木質パネルボードを外装材に使った建物

林産試験場の試験研究各部・科の紹介 1. 7

林産試験場の研究方向について

性能部の紹介

利用部の紹介

技術部の紹介

企画指導部の紹介

木は長い友達 1. 12

狂いを防いでつきあおう

腐れを防いでつきあおう

風化を防いでつきあおう

国際シンポジウムに参加して

★総説

- 組織のちからを 1. 1
- 海外植林とその利用について 1. 1
- 道産木製品展示館の概要 1. 1
- 木質内装材のニーズと需要拡大の用途に
関する研究報告書（要約） 1. 1
- いまさら木炭，されど木炭 1. 3
—「ザー炭」に参加して—
- 平成元年度北海道木材需給見通し 1. 4
- I R G第20回大会に参加して 1. 9
- 国際シンポジウムに参加して 1. 12

★研究の解説・紹介

- カラマツ化粧合板用原木の価格試算に
ついて 1. 1
- 北海道における製材機械の最近の動向 1. 3
—製材機，帯のこ，バーカほか関連設備の

所有状況調査などにもとづいて—		関する研究	
◦木造住宅の耐久性と木材の使い方	1. 3	◦道産広葉樹中小径材および中国産広葉樹材の材質	1. 3
◦トドマツ人工林材によるパネルボードの製造試験	1. 4	◦光ファイバー式センサを用いた単板節部分の認識	1. 3
◦立木にコブを造る試み	1. 4	◦ムキタケの栽培	1. 3
◦ひばの接着について	1. 4	◦ログハウスの設計とその性能（第1報）—ログハウスの計画・設計に関する考察—	1. 3
◦カラマツセメントボード・複合板について	1. 5	◦木の色	1. 9
◦北海道における建築用材の乾燥	1. 5	◦ひき板の仕上がり厚さ予測・表示装置の試作	1. 9
◦北米産広葉樹材の特徴	1. 5	◦エステル化木材の粘弾性挙動	1. 9
◦アルカリ処理による木材の可塑性	1. 6	◦林産試験場の昭和63年度試験研究成果の概要	1. 9
◦木材の吸音率	1. 6	◦マレーシア産材の化学分析値および光変色度	1. 11
◦木製サッシの防腐処理方法—乾式防腐処理技術の利用—	1. 6	◦ログハウスの設計とその性能（第2報）	1. 11
◦カラマツセメントボードを耐火野地板として使うために	1. 8	◦小径広葉樹材の材質	1. 11
◦パネルボードのふくれ、狂いを防ぐには	1. 8	★技術のおたずねにこたえて	
◦木の色をととのえる—未利用材について—	1. 8	◦べいまつ・べいつがの強度について	1. 2
◦節を見分ける電子の目	1. 9	◦ホワイトオークの乾燥について	1. 3
◦ササの利用ふたたび	1. 9	◦食用ぎのこの瓶栽培について	1. 5
◦土の中に根を伸ばすナミダタケ	1. 10	◦ログハウスの建築基準法について	1. 9
◦木のエサをベレットにする	1. 10	◦シロアリの見分け方	1. 10
◦ひき板の仕上がり厚さを予測する装置	1. 10	★行政の窓	
◦積雪寒冷地の木造住宅を考える—当場における在来構法の改良—	1. 11	◦木材産業新技術開発促進事業	1. 1
◦新たな住宅構造を探る	1. 11	◦乾燥剤の使用に向けた異業種交流会報告	1. 2
◦実験住宅の居住性能の検討	1. 11	◦乾燥材についてのアンケート調査の中から	1. 3
★林産試情報（林産試験情報・成果普及講習会用テキスト等紹介）		◦平成元年度北海道林産関係主要施策の概要	1. 4
◦β-0-4型リグニンモデル化合物芳香族炭素の化学シフトに及ぼす置換基の影響	1. 1	◦地域材流通加工システム高度化事業の一年目を終えて	1. 5
◦トドマツ針葉の化学成分	1. 1	◦北米産広葉樹製材に関する流通実態調査（その1）	1. 6
◦トドマツ精英樹系統の材質	1. 1	◦北米産広葉樹製材に関する流通実態調査（その2）	1. 7
◦ナミダタケの生長による土壌成分の変化	1. 1		
◦カラマツLV Lに対する釘接合の性能	1. 1		
◦木質セメントボードの曲面成型技術に	1. 1		

◦ 木材の防腐加工実績について	1. 8	◦ カラマツ材の価格動向	1. 10
◦ 集成工業の現況	1. 9	◦ 景気の循環変動	1. 10
◦ 昭和63年度木材輸出入動向	1. 10		
◦ 「全国カラマツ生産関係道県連絡協議会」について	1. 11	★閑話休題 （本文には題がついていないので、内容がわかるよう題をつけました。）	
◦ 建築用人工乾燥材の実態	1. 12	◦ 建物の木材腐朽と虫害の診断について	1. 2
		◦ シロアリの防除法について	1. 8
★内外の話題		◦ カーペットからフローリングへ	1. 10
◦ レーザーによる木材加工	1. 3		
◦ 菌による変色・腐朽菌の抑制	1. 5	★木材あらかると	
◦ 木造のジェットコースター	1. 11	◦ 学校教育と木材加工	1. 9
		◦ 年輪から年代・気候を読む	1. 10
★木材価格の動きなど		◦ 間伐小径材の利用	1. 11
◦ 木材価格の動き	1. 1～3, 5, 7～9, 11～12	◦ 木の調べ	1. 12
◦ カラマツ材価格の動き	1. 1～3, 5, 7, 9, 11		
◦ 木材関連工業の業種別経営資本対営業利益率の内容	1. 2	★その他	
◦ 広葉樹の素材価格と製材価格の推移	1. 4	◦ 平成元年度林産試験場の試験研究のあらまし	1. 6
◦ 素材と製材品の卸売価格の推移	1. 8	◦ 研修を終えて	1. 8